

「AIと日本語教育」国際シンポジウム プログラム

場 所 淡江大学淡水キャンパス（新北市淡水区英専路151号）鷺声ビル3階
 時 間 2019年3月9日（土曜日）08:30～17:30
 参加申し込み <http://enroll.tku.edu.tw/course.aspx?cid=tfjx20190309>
 申込期限 2019年3月3日（日曜日）22:00までに

0830-0900	受付（鷺声国際会議センター前）	
0900-0920	開会式 会 場 鷺声国際会議センター 司 会 葉 斐（淡江大学日本語文学科助理教授） 開会の辞 曾 秋桂（淡江大学教授兼日本語文学科主任・村上春樹研究センター主任） 吳 萬寶（淡江大学外国語学部部長） 松原 一樹（公益財団法人日本台湾交流協会台北事務所広報文化部長）	
0920-1020	基調講演① 会 場 鷺声国際会議センター 司 会 徐 興慶（中国文化大学学長） 題 目 コンピュータが小説を書く日 講演者 佐藤 理史（名古屋大学教授）	
1020-1030	休憩時間	
1030-1130	基調講演② 会 場 鷺声国際会議センター 司 会 落合 由治（淡江大学教授） 題 目 AI時代到来に備えた日本語教師の役割 講演者 川村 よし子（東京国際大学教授）	
1130-1230	昼食時間	
1230-1235	セッション① 会場 鷺声国際会議センター コメンテーター 范 淑文（台湾大学教授） 曾 秋桂（淡江大学教授）	セッション② 会場 T310教室 コメンテーター 邱 若山（静宜大学教授） 彭 春陽（淡江大学准教授）
1235-1255	AIのテキストマイニング技術による日本文学研究への支援 —多和田葉子『不死の鳥』を例にして—	AIと日本語教育 —「羅生門」の中国語訳本を翻訳授業での活用—
1255-1315	王 佑心（銘伝大学准教授） 文学理論とAI（人工知能）創作の関連性について —問題提起としての脱構築思想—	蔡 佩青（淡江大学准教授） 魏 世杰（淡江大学准教授） 人工知能による個性的翻訳の可能性 —コーパスの作成に関する基礎的検討—
1315-1335	葉 斐（淡江大学助理教授） AIによる日本語研究の可能性 —文学研究を例にして—	王 嘉臨（淡江大学准教授） 小説テキストの計量的分析の実践 —志賀直哉「城の崎にて」を例にして—
1335-1350	質疑応答	質疑応答
1350-1400	休憩時間	
1400-1405	セッション③ 会場 鷺声国際会議センター コメンテーター 楊 錦昌（輔仁大学教授） 葉 淑華（国立高雄科技大学教授）	セッション④ 会場 T310教室 コメンテーター 蘇 克保（東興大学教授兼日本語学系主任） 神作 晋一（南台科技大学助理教授）
1405-1425	次世代教員養成におけるIoT活用の授業力とその課題 —実践を通して—	音声入力・認識システムと日本語研究・教育への応用 —テレビ・ラジオ番組を例として—
1425-1445	張 紫音（東興大学博士課程） 人工知能時代における日本語教師の位置づけとストラテジー	渡邊 靖史（国際教養大学非常勤講師） AIと日本語音声教育
1445-1455	質疑応答	質疑応答
1455-1505	休憩時間	
1505-1510	セッション⑤ 会場 鷺声国際会議センター コメンテーター 董 莊敬（文藻外語大学准教授） 落合 由治（淡江大学教授）	セッション⑥ 会場 T310教室 コメンテーター 彭 春陽（淡江大学准教授） 盧 明姬（韓国東国大学校名誉教授）
1510-1530	日本語研究におけるAIによるデータマイニング手法の応用可能性	言語教育に及ぼすAIの現状 —韓国の場合—
1530-1550	陳 冠霖（台湾大学語文センター） 自然言語処理技術を活用した日本語音声教育 —文末イントネーションを中心に—	李 偉煌（静宜大学准教授） 自然言語研究と日本語教育の応用 —初級作文授業への導入—
1550-1600	質疑応答	質疑応答
1600-1610	休憩時間	
1610-1650	パネルディスカッション テーマ AIと日本語教育 会 場 鷺声国際会議センター 司 会 賴 錦雀（東興大学教授） パネリスト① 佐藤 理史（名古屋大学教授） パネリスト② 川村 よし子（東京国際大学教授） パネリスト③ 盧 明姬（東国大学教授） パネリスト④ 落合 由治（淡江大学教授） パネリスト⑤ 魏 世杰（淡江大学准教授） パネリスト⑥ 曾 秋桂（淡江大学教授）	
1650-1720	総合討論	
1720-1730	閉会式 会 場 鷺声国際会議センター 司 会 葉 斐（淡江大学日本語文学科助理教授） 閉会の辞 曾 秋桂（淡江大学教授兼日本語文学科主任・村上春樹研究センター主任）	
1800-2000	懇親会 福格大飯店17F（新北市淡水区学府路89号）	

主 催 淡江大学日本語文学科・淡江大学村上春樹研究センター
 共 催 台湾日本語教育学会
 特別感謝 公益財団法人日本台湾交流協会台北事務所